

令和 7 年 6 月 甲 良 町 議 会 定 例 会

一 般 質 問

順番	質問者	質 問 事 項	答弁者
1	2 番 木村 誠治	1、中学校体育館へのエアコン設置について (問題提起) ・近年の気候変動により、夏季の高温・冬季の低温が一層厳しくなっている。 ・体育館は授業や部活動、行事、また災害時の避難所としても重要な役割を担っているが、空調設備が未設置のため、利用者の健康や安全が懸念される。 (設置の意義) ・子どもたちの健康と学習環境の確保 高温・低温下での活動による熱中症や体調不良のリスクを低減し、安心して学び・活動できる環境づくり。 ・災害時の避難所機能の強化 災害発生時、体育館が避難所となる場合、空調設備があることで避難者の健康維持や生活環境の向上に資する。 (財源確保の可能性) ・国や県の補助金・交付金の活用事例（他自治体の先進事例も参考に。） 以上のことから質問する。 (1) 町として、中学校体育館へのエアコン設置を検討する考えはあるか。 (2) 補助金等の財源確保の見通しや、今後の具体的な検討方針は。 2、農林水産省「みどりの食料システム戦略」2030 年目標への町の対応について (背景説明) ・みどりの食料システム戦略において、2030 年までに 1. 化学農薬使用量（リスク換算）10%低減 2. 化学肥料使用量 20%低減 などの目標が掲げられている。 (農薬使用低減への対応) ・ネオニコチノイド系農薬からの脱却 健康や生態系への影響が懸念されるネオニコチノイド系農薬の使用削減・代替策の検討状況。	教 育 次 長 教 育 次 長

		・農家への情報提供や技術支援の現状と課題。 (化学肥料低減・有機農業拡大への対応) ・有機農業や環境保全型農業の推進に向けた町の支援策や普及啓発活動の現状。 ・町内農家の意向や課題、今後の目標設定について。 以上のことから質問する。 (1) 町として、みどりの食料システム戦略の2030年目標にどのように取り組む方針か。 (2) ネオニコチノイド系農薬の使用削減や有機農業の拡大に向けた具体的な施策・支援策の検討状況は。 ・子どもたちや町民の健康・安全を守るための積極的な施策推進を要望する。 ・国や県の動向を踏まえた柔軟かつ先進的な対応を期待する。	産 業 課 長 産 業 課 長
2	6 番 西川 誠一	1、米価高止まりについて 政府は備蓄米を放出しているが、米の小売価格が高騰している、町内の実状を問う。 (1) 米が高くなって経済的に困っていると相談に来る人はいないか、買えないと訴えてくる人はいるか。 (2) 町内の小売米は潤沢にあるのか。 (3) 昨年度、町内の生産量は例年と比較して何か変化があったのか。 (4) 米農家は今回の価格高騰では何らの潤いもないと思われる、流通段階で、どこが利益を得ているのか尋ねる。 (5) 今年度、来年度以降の米の買取価格の上昇が見込まれるがどのように指導していくのか。 (6) 生産者は販売価格を高くすれば消費者のコメ離れが進むのではと心配されている、どう考えるか。 (7) 国、県から通達、指導はあるのか、又、その逆は、農業を成長産業にするための政策の検討と要求を。	産 業 課 長 産 業 課 長 産 業 課 長 産 業 課 長 産 業 課 長 産 業 課 長

		2、トランプ関税について 世界や日本がトランプ関税により経済が振り回されている。率が高くなれば税収に響くと思うが本町の実状を問う。 (1) 輸出用工業製品企業は本町に何社あるのか。 (2) 何か相談は受けたか、又、訪問し尋ねたか。 (3) 食料輸入は自給率をアップするためにも阻止する必要があると思うがどうか。 3、ごみ焼却場について (1) 新たな彦根市長が就任され見直すと表明したが、本町としてはどのような処理施設を検討しているのか。 (2) 設置場所は新たに有力な候補地があるのか。 (3) 西清崎の土地が白紙に戻ったが要因はなにか。 4、交通安全問題について (1) 北落呉竹線町道箇所の白色の破線のセンターラインがほぼ消えて分かりづらい、また路側帯の白線がないので対面夜間走行時や夜間雨天走行時に事故の危険性があるため白線の道路標示を要望する。 (2) 自転車の交通ルールが改正になり罰則強化され来年4月から青切符制度が導入されると聞くが、周知徹底について警察署や交通安全協会から連絡はあるのか、シルバーカーの交通ルールはあるのか。 (3) 役場交差点改良工事が休止と聞くがどうか、今後、どのように対処していくのか、事故の危険性がある。 (4) 県道、町道に凹凸等で走行性が悪い所が何箇所あるため早期の改良改修を求める、判定基準があるのか。	産 業 課 長 産 業 課 長 産 業 課 長 住民人権課長 住民人権課長 住民人権課長 建設水道課長 総 務 課 長 建設水道課長 建設水道課長
--	--	--	--

3	4 番 山田 光義	1、人権施策の推進について 第4次甲良町総合計画の基本目標3の政策6に、共生・人権を大切にすると掲げてある。その中の基本施策2は、人権施策の推進である。 (1) 行政組織の中で職員一人ひとりの人権意識やコンプライアンス意識の醸成を図るとあるが、令和6年度においてどのような研修や取り組みを町としてやったのか。 (2) 人権に関連する研修会・研究大会・集会（全国、近畿、県等）などの参加要請に人権対策本部長（町長）を先頭にちゃんと出席できているのか、昨年度の出席状況について、町・彦愛犬・県・近畿・全国単位の報告を求める。又、欠席の場合の理由も尋ねる。	総務課長 住民人権課長 社会教育課長
4	9 番 西澤 伸明	1、役場前交差点改良工事を問う 県事業の交差点改良工事が中断され、交差点がいびつなままの形状になっている。危険であることはもちろん、我が町のど真ん中、メイン道路で通行量も大変多くなっている。このことから、県当局はもちろんのこと、町当局の姿勢・対応も問われているのではないかなど、町長の見解を問う。 (1) 県は今後どのような方向なのか。「事業中止」か、「継続」か。もちろん「完成」を望んでいると思うが。 (2) 町としては、現状をどのような認識で受け止めているか。 (3) 神社関係者・地元法養寺区との合意が成立しないまま交差点北側を先行実施したなどの工事開始以降の反省に立ち「改良工事進展」を妨げている障壁・問題点の解決に向けて、地元および県に対し働きかけを強める必要があるのではないかな。 2、上下水道管の対応について (1) 埼玉県八潮市の下水道陥没事故、又、類似した配管の破損事故を受けて、国、県より指導はあったのか。その内容は。	建設水道課長 建設水道課長 建設水道課長 建設水道課参事

		(2) 一般的に上下水道の配管の耐用年数は40年とされているようだが、本町でその耐用年数を経過している配管はあるのか。それはどれだけの長さか。 (3) 深刻な事故を未然に防止するための対策が必要では。 (4) 膨大な経費となることが予想され、国・県に対し抜本的な財政支援を要望することが重要では。	建設水道課参事
			建設水道課参事
			建設水道課参事
		3、ごみ減量へ本格的対策は必須条件となる 新ごみ処理施設整備計画の出口が明確に見えない中で、どのような展開になろうとも、ごみ減量は最重要課題ではないかと考える。 (1) ごみ減量計画策定を求める請願採択、意見書可決を受けて「減量計画の策定」に取り組んだのか、具体的な作業は。 (2) ごみの種別で水分が多いごみの対応が必要となり、生ごみ、刈草、剪定枝の処理支援がまず必要である。そして今後ますます増加する紙おむつの利用に対応する対策立案が必要になるのでは。 (3) コンポスト購入補助、段ボールコンポスト講習会などを奨励する取組みで「ごみ半減」に踏み出すことが重要では。 (4) ごみ抜本的減量（半減）の課題は財政負担・町民負担の大幅軽減に直結するという認識はどうか。 (5) 広域行政組合による新ごみ処理施設整備計画に対する我が町としての方針は（彦根市長が田島一成氏に代わったこともあるが）どうか。	住民人権課長
			住民人権課長
			住民人権課長
			住民人権課長
			町 長
		4、地方公共団体情報システム標準化とは (1) 地方公共団体情報システム標準化法はそもそもどのようなもので、地方自治体に義務的に求めている準備及び業務、そして財政負担など資料と共に説明を求める。 (2) 地方公共団体情報システム標準化が、我が町にもたらす施策、財政負担など業務全般の影響はどのようなのか。 (3) 特に、地方公共団体情報システム標準化に関し、移行経費は全額国庫負担をと、どの地方公共団体も強く求めていると認識しているが、現状はどうか。移行経費、運用経費ともどもどうか。	企画監理課長
			企画監理課長
			企画監理課長

		(4) 本制度は、簡単には理解しづらい制度だと思うので、行政、議会とも共通認識にするため、本制度の研修会を計画していただきたいがどうか。 5、呉竹区内の農業共同作業所の今後について 町民より、現在はほとんど利用されていない状況ではないか、利活用を検討すべきではないか、などの意見・要望が寄せられているがどうか。	企画監理課長 産業課長
--	--	---	---------------------------